

《特別用途食品～平成 21 年 4 月 1 日からの改定～》

今号では、平成 21 年 4 月 1 日より施行される、新たな特別用途食品制度について紹介する。

特別用途食品は下のように分類される。サプリ.com 発行当初より紹介している、特定保健用食品もこの中に分類される。特定保健用食品を除く特別用途食品には、「特別用途食品許可証票」（通称「人形マーク」）が付されている。



(改定前)

病者用食品（許可基準型）

- ・病者用単一食品
  - 低ナトリウム食品
  - 低カロリー食品
  - 低たんぱく質高カロリー食品
  - 高たんぱく質食品
  - アレルギー除去食品
  - 無乳糖食品
- ・病者用組み合わせ食品
  - 減塩食調整用組み合わせ食品
  - 糖尿病食調整用組み合わせ食品
  - 肝臓病食調整用組み合わせ食品
  - 成人肥満症食調整用組み合わせ食品



(改定後；H21.4～)

病者用食品（許可基準型）

- 低たんぱく質食品
- アレルギー除去食品
- 無乳糖食品
- 総合栄養食品

病者用食品（個別評価型）

妊産婦、授乳婦用粉乳

乳児用調整粉乳

えん下困難者用食品

特定保健用食品

妊産婦、授乳婦用粉乳

乳児用調整粉乳

高齢者用食品

- そしゃく困難者用食品
- そしゃく・えん下困難者用食品

特定保健用食品

特別用途食品とは乳幼児、妊産婦、病者等の発育、健康の保持・回復等に適するという特別の用途の表示の許可について定めたものであり、健康増進法制定前の栄養改善法によって定められた枠組みを基本的に維持してきた。しかし、近年高齢化の進展や生活習慣病の患者の増加に伴う医療費の増大とともに、医学や栄養学の進歩や栄養機能表示制度など特別用途食品制度を取り巻く状況は大きく変化した。こうした状況を踏まえ、平成 19 年より今後の特別用途食品制度のあり方について検討が行われ、4 月より新制度が施行されることとなった。特別用途食品制度の対象とする食品の範囲について、以下のとおり見直しが行われた。

- (1) 総合栄養食品（いわゆる濃厚流動食）を病者用食品の一類型として位置付け
  - ・在宅療養も含め病者の栄養管理に適するもの。これまでは、特別用途食品の対象となっていなかった。認知度を高める一方、栄養組成など品質の確保を図る必要性も高いため、新規に組み込まれ表示を行うこととした。
- (2) 病者用単一食品と栄養強調表示との関係を整理
  - ・高たんぱく質、低カロリー、低ナトリウムについては、栄養強調表示が代替的役割となる。生活習慣病の予防が重要な国民的課題となる中で、専ら病者に限定されるべきものではないと考えられ、特別用途食品からは削除されることとなった。
- (3) 病者用組み合わせ食品を宅配食品栄養指針による管理に統合
  - ・在宅療養の支援には、宅配病者用食品の適正利用の推進が適切であり、病者用食品についても宅配食品栄養指針に基づき栄養管理を図るべき。
- (4) 高齢者用食品の見直し
  - ・単なるそしゃく困難者用食品を許可の対象から外すとともに、高齢者用食という名称をえん下困難者用食品に変更。

なお、妊産婦、授乳婦用粉乳については、粉乳以外にも様々な栄養源が利用可能であることから、許可の対象とする必要性が相対的に低下しているものと考えられる。

特別用途食品については、医療機関内で消費される食品と異なり、対象者自身が選択し、購入することが基本となる。したがって、対象者において栄養管理に関する基本的な知識を体得することが望まれる。それとともに、医療機関等の専門職員においても適切な栄養指導や情報提供が求められる。今後、特別用途食品の製品情報並びに疾患ごとの栄養管理や食事管理等に関する情報のデータベース化がおこなわれる予定である。

## 《特定保健用食品》

「CPP-ACP(カゼインホスホペプチド-非結晶リン酸カルシウム複合体)」について  
商品；リカルデント

## 許可された実際の表示

歯の脱灰を抑制するだけでなく、再石灰化を増強する CPP-ACP を配合しているの  
で、歯を丈夫で健康にします。

## 効果・作用機序

CPP-ACP が過飽和状態で歯面上に局在し、酸存在下でカルシウムとリン酸塩の遊離  
イオンを供給することにより、歯のエナメル質の脱灰を抑制すると同時に、持続的に  
再石灰化を増強する。

## 成分

CPP-ACP

牛乳から作られた、無味無臭の天然由来成分。

## 使用上の注意

ガムは1日4枚を、1枚あたり20分間噛むことを、タブレットは1日4粒なめるこ  
とを目安に2週間噛むと効果的である。

毎日の歯磨きを自然に補うものであり、口腔内の衛生維持の中心となる適切な歯磨き  
やフロッシング等が不要になるわけではない。

一度に多量に食べると、体質によりお腹がゆるくなる事がある。

本成分は牛乳由来の成分なので、牛乳アレルギーのある方は摂取を控える。

## 今月のアロマ マジョラム (シソ科、抽出部位：花と葉)

鎮痛・鎮静・抗うつ・細胞成長促進・抗菌・消化促進

ホッとスパイシーな香りが特徴。体を温めて、血行を促進するため、  
冷えやむくみの改善、月経痛や肩こりなどの痛みの緩和に効果的。

自律神経のバランスを整えて、ストレスや不安をやわらげる、  
安眠のための香りとして有名。妊婦には禁忌。

